



一般財団法人労働衛生協会
理事長 小川 純一

新年あけましておめでとろございませす

旧年中は多くの皆様のご協力とご指導により、無事一年を過ごさすことができました。深く感謝申し上げます。

さて、職域健康診断の有所見率は五十パーセントを超え、二人に一人は何らかの所見があることが続いています。特に健診項目で血中脂質検査、肝機能検査、血圧、血糖検査の有所見率が二桁の十パーセント〜三十パーセントになっています。また、年齢別では働きざかりの四十代、五十代の労働者の有所見率が高くなっているようです。

健康管理は受診後の事後措置が重要です。当協会は健診結果に基づき、保健指導、栄養指導等を実施し、受診者様への総合的な健康管理を行っています。そして「心」の健康診断であるストレスチェックも安衛法改正と同時に取り組み、初年度は二万人を超える方々への情報提供を致しました。

また、長野県支部に開設した「ほたるの里健診センター」が三年目を迎えます。地域の方々のご協力により、少しずつ利用者が増えてきております。

本年も引き続き地域・職域等の皆様への総合健康管理機関として事業を推進してまいり存ですので、末永くご愛顧賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶と致します。